



この「節分」や「五蓋」の話、なんと5年生の誰かさんが自主学習で調べてノートにまとめていたそうです。そして阿蘇品先生に「先生は何鬼ですか？」と最後に書いてあったそうです。さて阿蘇品先生は何鬼だとお返事したのでしょうか。興味ある～～(笑)



# 大江の風

2月7日  
No.86

## 学校朝会は「節分」の話

節分の「節」は季節の節。節分とは、季節を分けるとい

う意味で、春夏秋冬のそれぞれの季節の区切りを表します。なので、もともと節分は一年に4回あります。立春・立夏・立秋・立冬の季節の始まりの日の前日を節分と言っていたのが、現在は、冬から春になる立春の前日の2月3日だけが節分として残ったのです。なぜ、春の節分だけ残ったのでしょうか。昔の人たちは立春を1年の始まりと考えていたからです。立春が1年の始まりだとすると、立春の1日前の節分は今の『大晦日』にあたりますね。新しい一年を素晴らしい年にするために、大晦日の日に邪気を追い払う行事が行われたことから、春の節分だけが今も残っているというわけです。

では、なぜ節分に鬼がでてくるのでしょうか。節分に鬼が登場するのは、平安時代までさかのぼります。かつては、季節の変わり目には邪気、悪いことが起きると考えられていたので、恐ろしいことは、鬼の仕業と考えられていました。それから、節分に『鬼払い』の行事として、鬼のきらいな豆をまいて、お家の安全や病気や災害がないように祈るようになっていったのです。

子どもたちには、現代の豆まきは、みんなの心の中にいる鬼を退治するためにもあるというお話をしました。鬼は外からやってくるものですが、実は人間の心の中にも「鬼」が住んでいます。「さてみんなの心の中にいる鬼は何色でしょう」という問いかけをしました。レッド・ブルー・イエロー・グリーン・ブラックのナンチャラ戦隊みたいですが、どれも強そうですね。赤・青・黄・緑・黒の鬼の色は、『五蓋(ごかい)』。人間の煩惱の種類を表しているそうです。五蓋は、仏教における修行を邪魔する5つの障害なのです。簡単に言うと、人間が誰も持っている負(マイナス)の感情のこと・人間の弱さのことです。『人はみな五蓋(ごかい)持って生まれてくるけれど、自分の心から五蓋(5つの煩惱)をなくせば、心穏やかに幸せ部過ごせる』という教えです。その五蓋、5つの煩惱が「5つの鬼」に例えて色分けされているのです。子どもたちは、本当は良い

あか・あお・き・みどり・くろ

○ この5色の鬼の色は

### 五蓋(ごかい)

仏教における修行をじゃまする5つの障害

人間がだれしももっているマイナスの感情のこと

よくぶかい じぶんかって  
「もっとほしいよ」  
「もっともっとほしいよ」  
欲望・渴望・人間のすべての悪い心

おこりやすい  
「むかつく」「はらたつ」  
「いらいらする」  
悪意・にくみ・いかり

うしろむき くよくよする  
「あんなことさえなければ」  
「あ～あ～ほくほだめだ」  
「まわりがわるいんだ」  
過去にとらわれて前に進めない

だらだらなまけもの  
「だるい」「やるるきがしない」  
倦怠・眠気・不健康・勤勉ではない

うたがりぶかい ぐちがおおい  
「本当はちがう?」「だまされてる?」「しんじられない」  
愚痴・うたがいの心・疑心暗鬼

### 自分のよわい心にうちかつ!

よわい心にうちかつ5つのルールがある。

- 1 はやおき
- 2 ぼんじてっいてい
- 3 げんかいからあと一歩がんばる
- 4 ぐっとこらえる
- 5 時間をいしきする

「自分でどうにかする力」を発揮して  
本気でワンランクアップ

進級・進学まで、あと学校に来るのは30日間しかないのだ。心を強くしよう!

子になりたいのに、どの鬼が自分の幸せを邪魔しているのか考えながら、心理テストのようにおもしろがって聞いていました。

ここからが本題です。心の鬼を退治するには、どうしたらよいか。心の鬼を退治した人は、どんな場所でも、どんな苦しいことがあっても、幸せに生き抜くことができます。答えはこれしかない。

「自分の弱い心に打ち勝つ」そのためには、次の5つルールを意識してやってみようと提案しました。これは有名なメンタルトレーニングの先生が教えてくれたことです。

- 1 **早起き** 毎朝決まった時間におきると心が強くなる。気持ちよく勉強や仕事ができるようになるからです。
- 2 **凡事徹底** 大江の3学期の合言葉ですね。「やろうと思えば誰でもできること」を超徹底的にやると、心が強くなります。
- 3 **限界からあと一歩がんばる** 筋肉トレーニングは、苦しいと感じ出した直後の運動で初めて筋肉がつく、といわれています。これと同じように、学習も「限界までやって、さらにあと一歩やる」ところでグンと身につくのです。あと一歩がんばれば心が強くなります
- 4 **つらいと思っても ぐっとこらえられるようになる** その通り！
- 5 **時間を守る** いつもほどよい緊張感を持ちながら、時間にこだわる。8時までに登校できたり 時間にこだわって勉強できたりすると、心が強くなります。  
弱い心、自分の心の鬼退治をして、本気でワンランクアップして、進学・進学してほしいです。あと残り授業日数30日しかないのです。

## 生徒指導主任・上村先生のお話

2月の生活目標は、「身の回りの整理整頓をしよう」です。そこで上村先生は、「クラスの靴を並べたり、トイレのスリッパを並べたりしている人を見たことない？」と尋ねられました。そしてたくさん子どもたちが手を上げました。そしてその場で「誰がどんなことをしていたのか」発表させられました。全校児童の前で、友達に自分のよい行いを発表された子どもたちは、とても嬉しそうでした。全校児童みんなに褒められました。そして上村先生は「その友達のよい行いに気づいた人もすばらしい！」と話され「気づく人になりましょう」言われました。自分の周りの友達のよさに気づく、友達がどんな行動をしているのか興味をもって見て、よさに気づく」これもこれから社会にでて必要な素敵な生きる力ですよ。



お友達のよい行動を紹介してくれました。紹介してくれた男子もすてきです。発表してくれてありがとうね。褒められたお友達もとても嬉しかったことでしょう。

それから、生活委員会が調べた「靴ならべ（放課後の上靴）のチャンピオン」と「名札着用チャンピオン」のクラスの発表が、1位から3位までありました。名前を呼ばれたクラスは大喜び。低学年がランキングにたくさん入っていたのでびっくりしました。すばらしいね。きっとクラスで創意工夫して、毎日のよい習慣となっているのでしょう。これも大江の3学期の合言葉「凡事徹底」です。当たり前前を当たり前前にするのではなく、当たり前前の人にはまねできないほど、一生けんめいやること。これができているクラスは、すごく伸びます。もっともっとよいクラスになることでしょ。

## 造形展に行こう！（7日～16日）



入賞した人たち、おめでとう。大江小の作品はカラフルでとても楽しいね。

熊本市の全部の小学校の優秀作品が勢ぞろいします。本校もクラス代表の作品が難段に飾ってあります。私も毎年行きますが、我が学校以外の作品を見るのもとても楽しいし勉強になります。動植物園の会議室に展示してありますので、よかったら連れて行ってあげてください。



**おまけ** 今週のほほえみいっぱいあいさつウィーク、保護者の皆様もたくさん参加していただきありがとうございました。今週は朝からとっても寒かったですよね。私は冷たすぎて顔が痛かったです。ご協力ありがとうございました。